

ネパールのカトマンズでのアクティビティ

スポーツ 池野結登 龍谷大学付属平安高等学校出身

ネパールでは様々なアクティビティを通しネパールの現地の人々と交流しました。私たちはカトマンズ本願寺の日本語学校の生徒とサッカーをしたり、セカンダリースクールの生徒たちとバレーボールをしたりして交流しました。またカトマンズ市内にあるボルダリング施設にも訪れました。スポーツをすることで、言語の壁をなくし交流しました。



日本語学校生とフットサルの様子

セカンダリースクールでのバレーボールの様子

食事

ネパールでは冬に寒くなることもあり辛い食べ物というものが多いです。ネパールでの食事は日本に比べてかなり安く、例えばモモという食べ物で日本だと小籠包みたいなものや肉まんのようなサイズのものが6個で200ルピー、大体日本円で200円ほどあれば食べられました。日本では肉まんという一つで200ほどします。このようなことからネパールでは食事で物価の違いを感じました。の食事の量も多く、日本の感覚で注文したのですがかなりの量になり食べきるのに苦戦しました。次にダルバードというネパールの主食となるものがあります。それは言わばカレーです。ネパールはインドの隣国ですがカレーはナンではありません米です。ネパール人はこのダルバードが大好きです。ダドルバードはダルバードでもルーや周りに乗っている具が様々な種類があります。このダルバードの肉以外はお代わりし放題です。大食いの人にはたまらないです。ネパールの定員さんに少しと伝えてもかなりの量が盛られます。おそらくネパール人は大食いが多いです。



セカンダリースクールでの食事

ドラゴン Y とのカトマンズ市内での食事の様子

買い物

ネパールは物価がかなり安く、日本の感覚で行くとあまりお金を大量に使うということはありませんでした。ですが、日本で普通に売っているコカ・コーラやキットカットなどの値段はあまり日本と変わりません。



ネパールではお店に行くとスーパーなどの値段がすべて決められているような店ではない限り値下げを交渉できました。観光客だから高く値段をいう可能性もあるので値下げ交渉はしたほうがいいです。根気強く交渉すると 2000 ルピーが 500 ルピーになったことがありました。あまり大きく値下げを交渉すると断られることもあります。いい具合の値段を言い値下げ交渉をするというのもネパールでの買い物の楽しみの一つです。

ボダナート近くの商人とやりとり

消防署 藤村怜生 龍谷大学付属平安高等学校出身

私たちはネパール・カトマンズの消防署を訪問し、歴史や制度を学びました。昔は展望台から火災を見張っていたという歴史や、市内には限られた数の消防車や水の確保手段しかなく、小規模で入り組んだ場所での火災には、消火器を積んだバイクで対応しているという現状。また、消防隊員が 24 時間体制で署に住み込みながら火事に備え、洪水や倒木の処理など幅広い災害対策を担っている姿を知り、日本のように水がどこでも使える環境や交代勤務体制に守られた消防活動との大きな違いに気付くとともに、資源の限られた中でも、その地に適した工夫で地域の安全を守り続けている姿勢にカッコよさを感じました。今回、実際に日本の消防署とネパールの消防署に足を運ぶことで、身をもって違いを感じられて、いい経験になりました。



昔使用されていた展望台



小規模の火災で使用するバイク

トリブバン空港(ネパール カトマンズの空港) 増渕琉惟 玉川高校出身

帰りのトリブバン空港では往路の時と異なり空の明るい時間での出発でした。そのため、往路では気づくことができなかった点が多くありました。空港の敷地に入りまず感じたことは人の多さです。ロータリーに家族や友人を見送る多くの人がありました。出稼ぎの多いネパールならではの光景なのではないかと感じました。これに加え、日本の空港と大きく異なる点がありました。それは、飛行機への搭乗の仕方です。日本の空港では建物と飛行機を搭乗橋が繋ぎそこを通り搭乗します。ですが、トリブバン空港では建物から飛行機までをバスで移動します。そのため、バスから降り地面を歩いて搭乗をします。普段歩くことのできない飛行場の地面を歩くことができるのは貴重であったと思います。ですが、トリブバン空港がこのような体制での搭乗なのは資金不足だという話を聞きました。ネパールの社会体制が空港でも感じられ最後まで学びを深めることができました。さらに、搭乗してからも日本との違いを感じました。それは、私たちが搭乗してから離陸したのが一時間後のことだったこ

とです。それに加え、離陸までの途中のアナウンスでは「あと5分ほどで離陸できたらいいなと思っている。」というような曖昧で軽い言い方だったそうです。日本であれば出発が遅れていることに対し謝罪を行うと思います。この時間に対する縛りの弱さがネパールの良さであり悪さでもあるのではないかと思います。



空港敷地入口付近の様子



搭乗中の様子